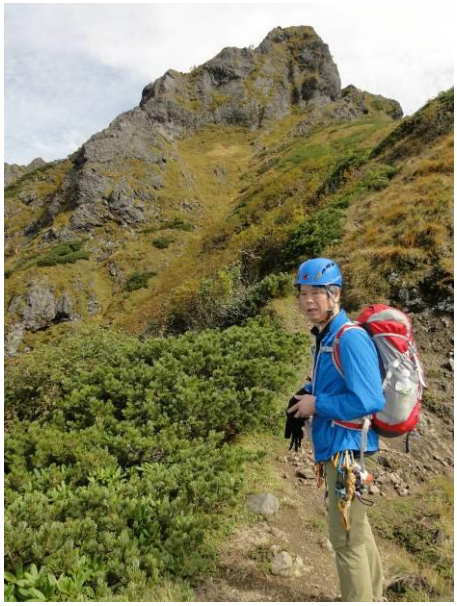
阿弥陀岳南稜山行報告書

（山域）　八ヶ岳　阿弥陀岳南稜
（コース）舟山十字路～立場岳～無名峰～P1/P2/P3/P4～阿弥陀岳～御小屋山～舟山十字路
（日時）　９月２５日（日曜日）
（天候）　曇りのち晴れ
（山行タイム）舟山十字路 6:15～立場岳 8:00～青なぎ 8:20～無名峰 8:50～P1 9:05～P3 10:30
　　阿弥陀岳 11:00/11:30～御小屋山 13:15～舟山十字路 14:10
（参加者）ＣＬ：内堀（記録）・小宮山
（山行報告）
　前日（土曜日）の夜、幕張本郷駅で待合わせし出発。22:50 とかなり遅い。
車を飛ばし首都高・中央道と進み、道の駅「こぶちざわ」に到着したのが、1:10 頃であった。
途中コンビニで朝食・行動食を購入する。早目に就寝するが、寝坊してしまい 5:15 起床となる。
慌てて舟山十字路を目指し駐車するが、既に 15 台前後の車が駐車しており、何とか駐車スペースを確保して、出発準備・朝食を頬張る。6:00 前には出発したかったが、15 分遅れで出発する。
林道をそのまま上り、御小屋尾根入口を過ぎ広河原橋を過ぎた辺りで右側にルートがあり、進むと広河原川を渡渉する。そのまま、尾根に向かい急登を進むと稜線に出て、ここが南稜である。
本来なら広河原に進みゲートを進むと南稜が簡単に拾えたようである。私たちコースも赤テープもついており、ここから相当登っている様であった。時間的にも短かった。
稜線を進み急登が出て来て汗を切らせながら進むが中々、立場岳に到着しない。休憩要望があったが、もう直ぐであるとそのまま進むと、ようやく立場岳に到着した。初めの 1 本の休憩としては長かった。1 時間 45 分で到着した。休憩前にソロの方と二人組パーティを追い越す。
休憩後、青なぎを順調に進み、急登後、無名峰に到着。休憩も惜しみ、P1/P2 を巻きながら超える。
P2 を超えた所で、ハーネス・ヘルメット・ガチャを取付け出発し、本日の核心部 P3 については、トラバースしてルンゼに向かう。ルンゼの入り口でロープを付け、先頭は小宮山さんが登り、その後、私が登り、途中支点箇所を見つけながら、小宮山さん、私と交互に先頭が入れ替わる様に、つるべ方式で登り切った。　P1 を過ぎた辺りから雲やガスは切れ、阿弥陀岳が良く見えている。
P3 稜線以降は、トラバースして左側に回り込み、岩をよじ登り何とか阿弥陀岳に到着した。
山頂では縦走の方々が何組かいた。赤岳と違い人が少なく静かであった。八ヶ岳で景色が良いのは硫黄岳と思っていたが、阿弥陀岳の方が景色は 1 枚上であった。
ハーネス・ヘルメット・ガチャを外しザックの中にしまう。小宮山さんは私のロープを持つと、お願いしました。8.9㎜×60m で、細いですがかなり重いです。頑張れ。
時間も早かったが、午後天気が良くないとの情報もあり、中央稜ルートを避け、一般ルートの御小屋尾根を進む。一般道でしたが、かなりの急坂を駆け落ちる如く進む。ロープが要所にあり問題なく通過する。不動清水を過ぎた辺りに休憩を取る。
トイレ休憩を済ませ出発後は、御小屋山に早く到着する。
美濃戸口と舟山十字路分岐点であり、左側の舟山十字路を目指す。尾根を巻きながら進むと緩斜面の道に出てダラダラ進み、更に左側に折れて行くと林道が表れてきた。終点の間近である。
駐車場に到着した。ヤレヤレである。14:10 頃でスピード山行であった事は間違いない。
天気も危ぶまれ、出発時刻も 30 分以上も遅れてしまい、途中どうなる事か思ったが、巻いて、巻いて、巻いて、行った山行であった。久々頑張った。天候も夕方まで持っていた。
山行終了後は、もみの湯で汗を流し、中央道を進むも結構酷い渋滞に舞い込まれ、自宅に到着したのが、21:00 前であった。
今度、阿弥陀岳を登る時は中央稜でチャレンジしたいものだと思った。

自然を大切に
土・石・動植物の採集、
持ち出しを禁止します。
これに違反すると
法律により処罰されます。
原　村



—以上—